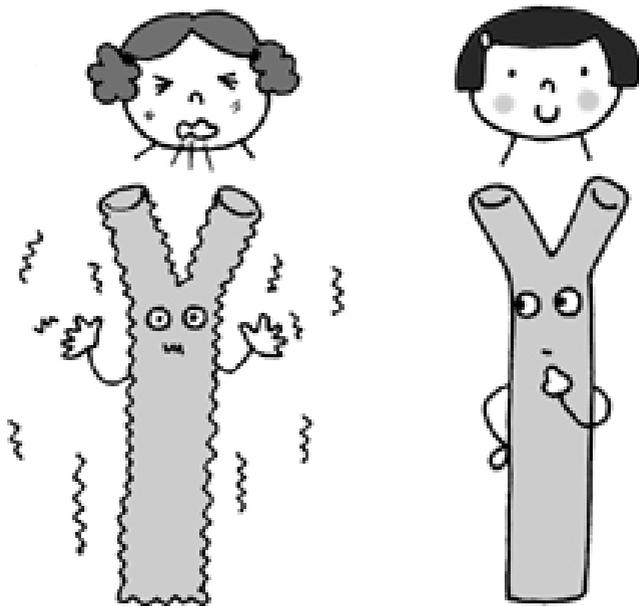


ぜんそくの子は 気管支が敏感



ぜんそくの子は気管支が敏感。ふつうは刺激にならないような小さなことでも気管支がびっくりしてしまうのです。

アレルギーのないぜんそくもあります

ぜんそくの患者さんに 100%共通していることは何でしょう。
アレルギー？

いえ、そうではありません。アレルギー科という名前もある

からだまされやすいのですが、ダニとか、動物のフケとか、いろいろなアレルギーを探しても見つからない、そういうぜんそくの患者さんも結構いるのです。それじゃあ何が共通しているのでしょうか。

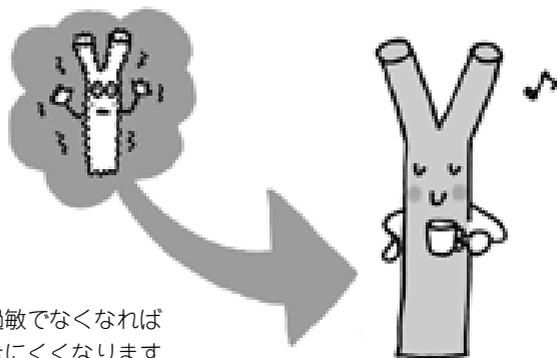
それは、「気管支が過敏」ということです。

「過敏性」が高ければ重症、それほどでもなければ軽症ということもいえます。

過敏な気管支を過敏でなくすることが治療の中心

それじゃあ、生まれつき過敏なのでしょうか？ それとも、だんだんと過敏になっていったのでしょうか？ 実はそれはどちらもあるようです。でも、生まれつき過敏になりやすい子がいるとしても、新生児のときからぜんそくということはまずありません。赤ちゃんのときにかかった呼吸器の感染症などをきっかけにちょっと過敏になり、ぜんそくの症状を繰り返すことによって、さらに過敏になっていくのです。

アレルギー体質であっても、気管支が過敏でなければ、そういう反応は起きません。また、アレルギー体質をなくしてしまうことは今の医学ではできません。治療の目標は、過敏な気管支を過敏でなくすることによって発作を起きにくくすることなのです。



気管支が過敏でなくなれば
発作もおきにくくなります